

令和 5 年 6 月 7 日

新たな教育プログラム開発のための部署 「地域×データ」実践教育推進室の設置

福島大学では、福島の課題解決に資する全学的な実践教育プログラムを開発・運営するため、令和 5 年度国立大学法人運営費交付金「ミッション実現加速化経費『教育研究組織改革分』」の措置をもとに、教育推進機構に新たに「『地域×データ』実践教育推進室」を設置しました。本教育プログラムは、被災地域の現場に根差しながら地域課題を実証的に発見・分析・解決する力を身につけ、地域における EBPM (Evidence Based Policy Making : 証拠に基づく政策立案) に精通した、福島の復興・創生を牽引する人材を育成するものです。なお、8 月 10 日(木)に設立記念シンポジウムの開催を予定しています。

【組織概要】

教学マネジメントおよび教育の質保証を担う「教育推進機構」内に、2023 年 4 月より新たに「『地域×データ』実践教育推進室」を設置。教員・コーディネーターを新たに採用し、既存の学内教員と合わせ、教員 8 名（地域実践教育部門 4 名・データサイエンス教育部門 4 名）・コーディネーター 1 名が所属。学類教員と緊密に連携し、下記の事業を担う。

【事業の詳細】

① 「『地域×データ』実践教育プログラム」の開発・運営

被災地域の実情・住民の心情と、数値データの両者に精通した人材を育成するため、全学生が受講できる「『地域×データ』実践教育プログラム」を新たに開発・運営する。同プログラムは、被災地域におけるフィールドワーク・サービスラーニング（活動を通じた学習）科目である「むらの大学」など既存の地域実践型授業と、「社会とデータ科学の基礎」など既存のデータサイエンス授業の蓄積を活かし、新たな授業を複数開発するとともに、既存科目の抜本的な改善を図り、それらを体系化・パッケージ化することで開発する。

② 高校探究への応用、支援

「『地域×データ』実践教育プログラム」のノウハウや実績を、「探究」を中心とする県内の高校教育に生かすための仕組みをつくり、県内高校との連絡調整を担う。地域に根差した「探究」を軸とした高大連携の福島モデルを構築し、全国へと発信していくことを目指す。

その他の詳細は別紙をご覧ください。

(お問い合わせ先)

「地域×データ」実践教育推進室

室長 前川直哉 (教育推進機構 准教授)

電話: 024-548-8211

メール: miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp



新たな教育プログラム開発のための部署
「地域 × データ」実践教育推進室の設置

2023年6月 定例記者会見

福島大学教育推進機構 准教授 前川直哉

「地域×データ」実践教育推進室

- ・全学の教学マネジメントおよび教育の質保証を担う「教育推進機構」内に、2023年4月より新たに「地域×データ」実践教育推進室 を設置。
(読み方は「ちいき かける でーた」)

※令和5年度国立大学法人運営費交付金「ミッション実現加速化経費『教育研究組織改革分』」の措置をもとに新設。

「地域 × データ」実践教育推進室

【推進室のミッション】

- ・被災地域の現場に根差しながら地域課題を実証的に発見・分析・解決する力を身につけ、

地域実践教育

地域におけるEBPM (Evidence Based Policy Making

: 証拠に基づく政策立案) に精通した、

データサイエンス
実践教育

福島復興・創生を牽引する人材を育成するための
全学的な実践教育プログラムを開発・運営する。

「地域 × データ」実践教育プログラム

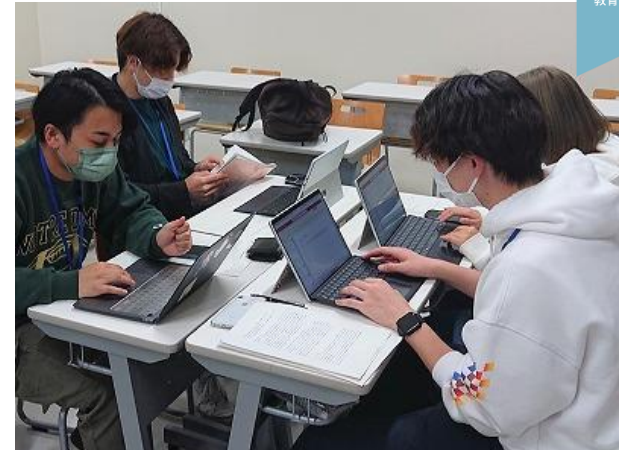
「地域 × データ」実践教育プログラム

地域
実践教育



「むらの大学」「自主学修プログラム」など
既存のフィールドワーク科目

データサイエンス
実践教育



福島大学「解のない問い」に挑む
データサイエンス教育プログラム

※文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育
プログラム認定制度(リテラシーレベル)」認定



数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル

既存科目の大幅な拡充・改良と新規科目の開設を行い
新たに全学的な「**地域 × データ**」実践教育プログラムを開始

既存科目の拡充と改良

- ①講義「ふくしま未来学入門Ⅰ・Ⅱ」のデータ授業回 増加
- ②フィールドワーク科目「むらの大学」定員増、合宿版新設
学生による住民インタビューのアーカイブ化をスタート
- ③サービス・ラーニング（活動を通じた学び）
「協働プロジェクト学修」プログラム増・2年生から受講可に
- ④「社会とデータ科学の基礎」（1年前期）全学類必修化
（動画配信によるオンライン授業、2023年度より）
- ⑤「データ分析入門」（1年後期）定員増
- ⑥「データサイエンス実践演習」（2年後期）定員増
自治体のデータを使用（福島市＋被災自治体）

新規科目の開設

科目名(仮)	予定している内容
福島地域データ	震災・原発事故以降の福島県の地域データの特殊性と普遍性について学修する
地方と若者	ローカルトラック論やU/J/Iターンの現状について学び、地方暮らしの若者とwell-beingについて考究する
EBPM入門	自治体におけるEBPM(証拠に基づく政策立案)について学ぶ(公務員志望者など)
地域課題と探究指導	福島の地域課題に応じた高校「探究」プログラムを考える(教員志望者など)
地域課題とビジネス	地域データに基づき、福島の課題をビジネスで解決する手法を学ぶ(ビジネスパーソン・アントレプレナー志望者など)

※現時点での予定であり、変更・追加される場合があります

「地域 × データ」実践教育プログラム

- ・「地域 × データ」実践教育推進室が開講する科目（新規科目ふくむ）と各学類の専門科目などを組み合わせ、「地域 × データ」実践教育プログラムを新設。

指定の科目群から必要単位数を履修することで大学がプログラム修了を認定。

高校「探究」との連携および支援

- ・県内高校「探究」について
高校教員対象のアンケート実施
- ・高校「探究」をサポートする
動画の作成・発信（予定）
- ・データを用いた高校「探究」の
コンクールを実施（予定）

教員・コーディネーター

「地域×データ」実践教育推進室(2023.4～)

室長:前川 直哉(准教授)

地域 実践教育部門

前川 直哉 准教授

★千葉 偉才也 特任准教授

久保田 彩乃 特任助教

鈴木 敦己 特任助教

データサイエンス 実践教育部門

高森 智嗣 准教授

★呉 書雅 特任准教授

鈴木 あい 特任准教授

加藤 穂高 特任講師

斎藤 毅 コーディネーター

教員8名・コーディネーター1名の計9名。

★印は部門長。黄色マーカーは今年度より着任。

地域実践教育部門(4名)

准教授 前川 直哉 (まえかわ なおや)

専門：社会学・ジェンダー研究

★特任准教授 千葉 偉才也 (ちば いざや)

専門：公共政策・被災地域の教育

特任助教 久保田 彩乃 (くぼた あやの)

専門：社会学・メディア論

※2023年4月より本学に着任

特任助教 鈴木 敦己 (すずき あつき)

専門：建築計画学・災害公営住宅

※2023年4月よりコーディネーターから教員に

データサイエンス実践教育部門(4名)

准教授 高森 智嗣 (たかもり ともつぐ)

専門：教育学・高等教育論

※高等教育企画室 教学・IR部門と兼務

★特任准教授 呉 書雅 (う しゅうや)

専門：高等教育論・データサイエンス

特任准教授 鈴木 あい (すずき あい)

専門：社会学・犯罪予防

※2023年6月より本学に着任

特任講師 加藤 穂高 (かとう ほだか)

専門：公共経済学・社会福祉

※2023年6月より本学に着任

コーディネーター(1名)

特任専門員 齋藤 毅 (さいとう たけし)

専門：教育学、日本史学

※2023年4月より本学に着任



高校「探究」との
連携・支援も
行います

アドバイザーボード

- ・「地域×データ」実践教育推進室に
学外委員からなるアドバイザーボード設置。
自治体・教育機関・企業・NPO・住民など
様々な視点から
「地域×データ」実践教育プログラムに
具体的な助言を行う。
(今年度よりスタート)

設立記念シンポジウム

福島大学「地域×データ」実践教育推進室 設立記念シンポジウム 「足とデータで地域の未来をひらく」

・ 日時 2023年8月10日（木）14:00-16:50（予定）

・ 会場 福島大学 L4 教室

・ 定員 180名（事前申込制・先着順）

学内外を問わずどなたでも参加可、無料

・ 基調講演Ⅰ 川内村 遠藤 雄幸 村長

基調講演Ⅱ 東京大学公共政策大学院

宮木 幸一 特任教授

パネルディスカッション

・ 問合せ先 024-503-2014（「地域×データ」実践教育推進室）

※詳細は7月定例記者会見でチラシを配布予定です。





福島大学では、全学生が受講できる
「『地域 × データ』実践教育プログラム」を
新たに開発・運営することで、
被災地域の実情・住民の心情と、
数値データの両者に精通した人材の
育成に取り組みます。
ご期待ください！